

## 令和8年度 松江市立皆美が丘女子高等学校 入学式 校長式辞

校舎へとなだらかに続く坂道の桜の木々が柔らかな雨に浸り、花びらから滴る雫が美しく彩りを添えています。かつて本校生徒が松江市の観光プランの象徴として「縁雫(えにしずく)」と銘打った、新しい縁(えにし)の到来を予感させるこのよき日、令和8年度入学式を挙げるにあたり、松江市長 上定昭仁様、PTA 会長 樋ヶ道子様をはじめとするご来賓の皆様のご臨席を賜り、心温まる式を挙げていきますことは、教職員並びに在校生にとって大きな喜びであります。高所からではありますが、ご臨席いただきました皆様に心からお礼申し上げます。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございませう。併せて本校での学びに信頼と期待をもってお子様をお預けいただきますことに深く感謝いたします。本校は、県内唯一の女子高であるとともに、中四国で唯一の公立女子高等学校です。私達教職員一同、女子高ならではの強みと特性を生かし、高校生となるお子様の成長を促していきます。とはいえ、「生みの苦しみ」の言葉どおり、成長過程では悩みや苦しみに直面することも多々あるでしょう。ご家庭におかれては、お子様を物心両面でしっかりと支え、いつでも安心できる居心地のいい、頼って行ける場所であり続けていただきたいと思ひます。そうした温かな家庭と時には厳しくもある学校とが緊密な連携を図り、お子様の育ちをサポートしていければ幸いです。私達教職員は、お子様が自らの生きる道を切り開いていけるよう、全力で支援してまいります。保護者の皆様におかれましても、本校の教育方針を十分にご理解いただき、ご支援とご協力を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

只今入学を許可した81名の新入生の皆さん、入学おめでとう。本校は、創立70有余年を誇る、伝統ある全日制女子高校であり、令和3年度に立地する「皆美が丘」を校名に入れて新たなスタートを切ってから5年目の新しい学校です。さらに、本年度入学生から入学定員を90人として学科改編し、更なる高みを目指してステージアップを図る挑戦校でもあります。今年度からの主な変更点は、3月末の入学予定者説明会で伝えたとおり、普通科のみの単位制学校になること、全て6限授業でボランティアなどの主体的に活動する時間が増えること、タブレット端末の個人所有、新たな学習コンテンツの導入など多岐にわたりますが、皆さん自身が学校生活を続けていく中で趣旨を理解し、なじんでくれると嬉しく思ひます。特に、主体性を強く発揮し、自分から学びを取りに行く、挑む姿勢をもっての高校生活に期待しています。

遡ること70年以上前に、松江市で「女子教育の機会が奪われてはならない」と行動を起こした人々の強い思いをもって開校した本校には、他の共学校とは異なる特色や、活力と熱気があります。ぜひ、志を持って本校の門をたたいてくれた新入生の皆さんと、在校生が力を合わせて、女子高ならではの魅力に満ちた、地域に期待され、愛される学校であるよう努めてほしいと願っています。

さて、今年度の公立高校入学者選抜では、昨年度に引き続き総合選抜、特色選抜が実施され、自分自身で最も行きたい学校にチャレンジできる機会がありました。本校にも募集定員を上回る出願があり、意欲と熱意に満ちたプレゼンテーション等を以て厳正に選考し、入学定員の40%程度にあたる37名の合格内定を出すに至りました。嬉しかったのは、本校の特色選抜に多くの挑戦があったことはもちろん、その選抜で合格しなかった生徒の全てが一般選抜に出願し、合格してくれたことです。ここに集う皆さんは、例年にも増して自らの意志で本校を選び、入学してくれたわけで、これからの高校生活を意欲的に送ってくれることに大いに期待しています。

ではここで、皆さんを迎えるにあたり、皆美が丘女子高生として心がけてほしいことを、期待をこめて3点お話しします。

1点目は、本校の校訓や校歌に込められた思いをしっかりと理解し、確かに学び成長してほしいということです。

本校の校訓は、「より広く より高く」を掲げ、平成15年に制定された比較的新しいものです。知識を得て心や視野を広げ、それを積み重ねて、知性や人格の高まりをめざそうというメッセージであり、富士山や大山のごとく、裾野をしっかりと広げてゆるぎなく美しくある姿をイメージしています。「より～」とあるように、現状に満足せず、一歩でも前へ、先へと進みゆく、そんな生

徒達、或いは学校でありたいと思っています。そこに女子高の強みを生かすべく、一昨年度からはさらに「より美しく よりしなやかに」を加え掲げています。立ち居振る舞いの点で「麗しさ」を、柔軟性や打たれ強さの点で「しなやかさ」を大切に、昨日や今よりも成長し続けてゆく皆さんであってほしいと思います。そして、校歌。「嵩の峰」、「出雲野」といった豊かな自然に包まれたここ「皆美が丘」の学び舎で、常に「生命(いのち)を賛え、「英知」を磨き、「理想」を掲げていこうと呼びかける校歌。皆さんを支えてくれる絶好の環境の中で、集う友と共に確かに学び、しっかりと成長を遂げてください。

2点目は、自身の豊かな成長のため、また心地よい人間関係、集団生活を皆で安定して送るために、「凡事徹底」に努めてほしいということです。挨拶やみだしなみ、ふるまいなど、ありふれた、当たり前のことに誠実に取り組む、これを「凡事徹底」と呼び、本年度のスローガンに掲げています。新入生と在校生、教職員が心ひとつに、安全で安心な学びの環境を共創すべく、皆で凡事徹底に努めていきましょう。

3点目は、学校と個々の魅力を更に高めるために、強化したい三つの資質・能力について、皆で協力して高めあってほしいということです。

三つの資質・能力とは、Performance、Hospitality、Communicationです。パフォーマンスは、身につけたものを外に表すこと、見せ方であり、魅力的な表現が自然に、或いは意図的にできるようになることをめざしたい。ホスピタリティは、心からのおもてなし、深い思いやりであり、相手や他者への配慮、心配りができると、パフォーマンスの質も上がっていく。コミュニケーションは、お互いの意思疎通や感情的なつながりであり、相手との適切な距離感を保ったり、他者への配慮の在り方を探ったりするのに大切。これら三つの資質・能力は全て、自分自身だけではなく、他者を意識したときに発揮され高まってゆくものであり、自らの意志で取り組む部活動やボランティア活動はもちろん、日々の授業や「まつえ学」等の地域の人・モノ・コトと関わる学習の機会など、あらゆる場面や機会を通して、三つの力を高めてほしいのです。それらの圧倒的な向上こそ、自身のキャリアデザイン、人生設計の実現において大きな力となってくれることでしょう。ぜひ皆で協力し合いながらあらゆる場面を通じて高め合ってくれることを心から願っています。

総じて、高校生活に限らず、学びや体験など、個人として自然とできることには限りがあります。もちろん全ての活動は最終的に個々の意志や姿勢に帰結しますが、その過程では様々な工夫が可能です。わけても協働的な取組は、新たな気付きや思考の深まりを促し、成長の契機となることも多いものです。縁あって集った仲間達とともに、話し合いや学び合い、支え合いや分かち合い、認め合いや高め合いを様々な場面で重ね、互いに成長しあってくれると嬉しく思います。授業や探究的な学び、部活動や生徒会活動、地域の人々との交流活動など、多様な体験のできる本校で、臆することなく果敢に挑戦してください。誰にも等しく挑戦の機会は与えられます。挑戦するか否かは、本人の意志次第。そして、挑戦の機会を生かし、次につなげていく、つまり体験を経験に昇華させることがさらに大切。日々の学習はもちろん、部活動や生徒会などの課外活動、そしてボランティアや社会体験活動など、主体的に多様な経験を積み重ね、人としての総合的な成長を促進させてください。

結びに、今皆さんが見ている女子高は皆さんの女子高ではなく、先輩たちが築いてきた女子高です。皆さんの女子高はまだどこにもありません。これから皆さんが、ここにいる仲間や同志とともに、自分たちで日々創っていくのです。皆さんの夢が志にまで高まり、活力と熱意をもって高校生活を送られんことを祈念し、また学校と地域が一体となってしっかりと皆さんを支えていくことをここに約束し、式辞といたします。

令和8年4月9日 松江市立皆美が丘女子高等学校 校長 多々納 雄二